

学内グラント 報告書

平成24年度 学内グラント終了後報告書

連続切片を用いた立体モデルの作製技術とそのデータベース化

研究代表者 猪股 玲子 (医学部 解剖学)

研究分担者 駒崎 伸二*, 高野 和敬*

研究成果リスト

著書

- 1) 駒崎伸二, 亀澤一, 猪股玲子. フリーソフトでできるIT教材作製法(仮). 掌華房; 2014(印刷中).
- 2) 駒崎伸二, 亀澤一, 猪股玲子. “連続切片を用いた胚や組織の立体再構築”, 3Dで探る生命の形と機能. NPO 法人総合画像研究支援 編. 朝倉書店; 2013: p. 33-46.

学会発表

- 1) 亀澤一, 猪股玲子, 駒崎伸二. 新たな医学教育に向けたデジタル教材作成の技術とその活用について, 第119回日本解剖学会総会, 2014年3月, 栃木県

獲得した学外グラント

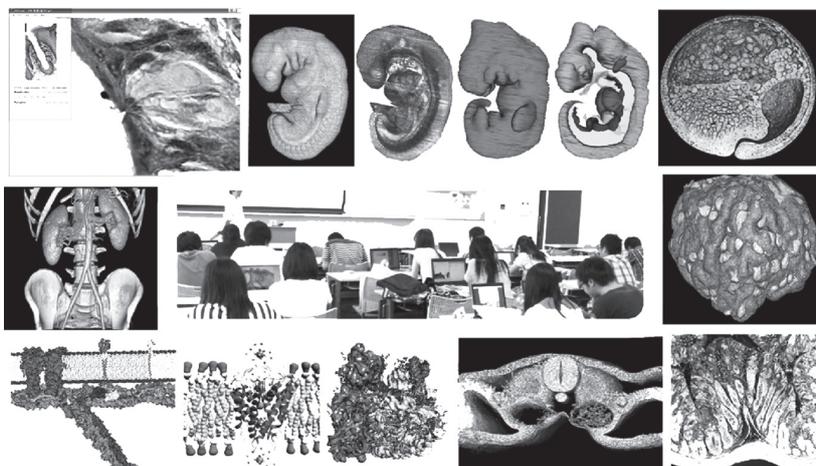
- 1) 平成25年度 医学教育振興財団. 経済的なバーチャルスライドシステムの開発とその解剖学教育への利用. 研究代表者: 駒崎伸二, 研究分担者: 猪股玲子, 亀澤一.

その他

- 1) 猪股玲子, 駒崎伸二, 高野和敬. 連続切片を用いた立体モデルの作製技術とそのデータベース化. 平成24年度埼玉医科大学学内グラント終了時報告書. 埼玉医科大学雑誌 2013;40:52-4.

付記 (研究成果の概略)

本研究では, 情報技術を活用したアクティブ・ラーニングを目標にして, それに必要な電子化教材を誰もが簡単にできる技術の開発と, その技術で作られた電子化教材を授業で効果的に活用する方法を検討した. 我々が開発したのは, 簡便なバーチャル顕微鏡システムと, 人体から分子構造に至るまでのリアルな教材を3Dのコンピューターグラフィックスで作製できる経済的で簡便な技術である. 現在, それらの電子化教材作りの技術を広く普及させると共に, それらの教材を医学教育に効果的に活用する方法を医学教育の現場で実践しながら検討している. 下の図は, 我々が作製した電子化教材の一部と, それらを用いた医学部1年生の発生学の授業風景である.



* 医学部 解剖学